

まちかど

● 荇原第一地域新聞 ●

発行・事務局
◎ 荇原第一地域センター ◎
小山3-22-3 (〒142-0062)
☎ (3786) 2000
fax (3786) 5385

○11月9日から11月15日まで
秋の火災予防運動が実施されます



荇原消防署小山出張所 ☎3781-0119

ゴミ分別「こみ」が変わった!

10月1日よりごみの呼び方が変わったり、ごみ・資源の分別方法が変更されて1か月が過ぎました。実施当初はやはり戸惑いましたが、そろそろ慣れてきたのではないのでしょうか。資源が増えた、不燃ごみが極端に減った、など思われ反響も聞かれるようですが、改めて変更事項のポイントを確認しておきましょう。

●呼び方の変更

「ごみ」の分別変更に伴い、これまでの

「可燃ごみ」

↓「燃やすごみ」

「不燃ごみ」

↓「陶器・ガラス・金属ごみ」と、呼び方が変わりました。

「資源」

↓従来どおり「資源」です。

●資源回収の種類

資源回収ステーションで回収する資源は9品目から11品目に増えました。

○新聞・宣伝チラシ○雑誌・書籍

○段ボール○紙パック○紙箱○びん

○缶○ペットボトル○乾電池

「新たに増えたもの」

○蛍光灯(割れていないもの)

○プラスチック製容器包装(汚れていないプラマークの付いたプラスチック・トレー・発泡スチロール類)

●出し方で迷う具体例

○ゴム製品、革製品は「燃やすごみ」へ。

○汚れているプラスチック製容器包装(プラマーク付)やその他のプラスチックは「燃やすごみ」へ。

○プラマークが付いていれば調味料などの色付きペットボトルも「資源」へ。

○プラマーク付の袋に紙のシール(値札・商品名・など)が張つてあるものでも、そのまま「資源」へ。

○割れた蛍光灯は「陶器・ガラス・金属ごみ」へ。

○カセットボンベ・スプレー缶・ライターは中身を使い切つて「陶器・ガラス」へ。

金属ごみ」へ。ただし、これらだけ分けて、見える袋に入れる。
○刃物や割れたガラス器など危険なものは、新聞紙などに包んで「キッチン」と赤字で記す。

「問合わせ」
品川区清掃事務所
☎3490・7051
品川区清掃事務所荇原庁舎
☎3786・6552

ハイテク備えた品川清掃工場

「循環型社会づくり」を实践

ごみの発生そのものを抑えるとともに、資源とし再利用することを推進する施設として八潮の臨海地区に誕生した品川清掃工場を10月17日(金)、本紙広報委員7人が見学してきました。

本体となる工場棟は機能美あふれる超モダンな造りで、東京ドームがすっぽりと納まるという巨大な建物です。

工場内では、高温で燃やすことにより、ごみの容積を20分の1に減らすことが可能。また、焼却灰や飛灰を熔融処理することによって、さらに2分の1に減らせます。

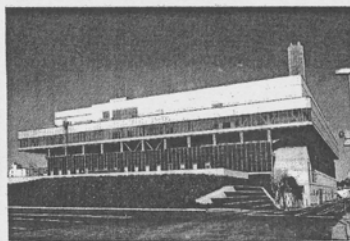
■公害防止機器が完備■

もちろん、公害対策も万全。ろ過式集じん器や洗煙設備、触媒反応塔などハイテクな公害防止機器が完備し、ダイオキシンなども防止できる優れものです。

また、ごみを燃やす際に発生する熱は発電用に使用したり、熱供給として八潮団地で利用されているそうです。

■処理したごみは多彩に再利用■

熔融処理した灰は「スラグ」という砂状の安全な



工場棟全景(品川清掃工場資料より)

物質に変えられ、建設資材としてアスファルト舗装の補助材をはじめブロックやレンガなどに再利用されています。

このほか、ペットボトルはシャツやネクタイなどにみにリサイクルされ、変身された実物が展示されていました。

「循環型社会づくり」に重点を置いて数々の設備を取り入れた品川清掃工場には、東南アジア諸国から相次いで視察に訪れるというのも、うなずけるどころです。

ひととおり工場内を見学し、帰りぎわに担当の方から、10月以降、変更後のごみ出しについて感想をうかがうと、

「家庭から出されるごみについては、よくご理解されているようで、おおむね問題はありません。ただ、水銀を使用した体温計は破損しないよう取り扱っていただきたい。異臭のするものは、十分洗浄してから出してください」とのことでした。

町の美化一人ひとりの自覚から

街角プラザ



投稿募集

あなたも紙面づくりに参加してみませんか。俳句、川柳、身近なニュース、ご意見などお気軽に事務局までお寄せください。

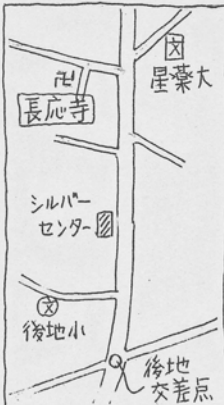
史跡散歩

法華宗長応寺

後地交差点から中原街道へ向かう中程、星薬科大学裏の信号を左に入ると長応寺の山門が目に入ります。

昭和の初めに建てられた山門はどっしりと優美に構え、「三つ葉葵」の紋が印され、徳川家ゆかりの寺であることがうかがえます。見上げると、龍の彫刻、緩く反った屋根の先には甲羅と幾つにも分かれた尾を持つ獣が睨んでいます。霊獣でしょうか。

長応寺は文明11年(1479)、三河国(現愛知県)の城主、鶴殿(うどの)氏によって西之郡(現蒲郡市)に創建されました。その後、戦乱の中で焼失し、江戸時代になって江戸・日比谷に再建されて、西之郡の局(鶴殿長忠



の養女・徳川家康の側室)の分骨を奉じた御廟所が造られました。この頃の長応寺は、塔頭(子院)が10院を越すほどの大寺を誇っていたそうです。

以後、下谷、八丁堀、芝高輪と江戸市中を転々と移り、明治39年(1906)に現在地にお堂を建てて移転しました。



昭和20年(1945)の大空襲では、山門を残して一切を失いましたが、間もない24年(1949)には本堂を建立しました。現在の本堂は39年(1964)に再建されたものです。

境内の墓地には、西之郡の局の分骨を納めた墓をはじめ、江戸後期の画家・渡辺崋山の師として知られる金子金陵など江戸の年号が刻まれた多くの墓石を見ることができます。

掲示板

◇地域貢献団体に感謝状◇

日ごろから地域においてボランティア活動を実施している団体に10月30日(木)、品川区長より感謝状が贈呈されました。

▽荏原第一地域センター管内で表彰された団体は次の5団体です。

▽ぶなの会(高齢者の支援)
▽小山3丁目町会なごみの会(高齢者の支援)

▽小山台健康クラブ(健康活動)

▽荏原4丁目町会あいさつ会(安全保持活動)

▽中原共和町会婦人部(地域の交流)

◇パルム杯サッカー大会を開催◇
第2回武蔵小山パルムカップ・少年サッカー3年生大会が、11月30日(日)8時30分より平塚小学校校庭で開催されます。参加チームは次のとおりです。

▽平塚FC
▽小山クラブ
▽後地FC
▽二延キッカーズ
▽一日野フエツクス

◇もっとメタボを知って健康づくり◇
区と区民健康づくり推進協議会では、成人病を引き起こす原因の一つとされる

メタボを知って健康づくり◇
区と区民健康づくり推進協議会では、成人病を引き起こす原因の一つとされる

【西の市】

▽起源は鎮守様への収穫祭

西(とり)の市は11月の西の日(十二支)を祭日として各地の鷲(おとり)神社や大鳥神社で行われる開運招福・商売繁盛を願うお祭り、江戸時代からつくづく代表的な年中行事です。

西の市の起源は、武蔵国南足立郡花又村(現在の足立区花畑)にある大鷲(おとり)神社が「本酉」といわれ、祭りの形態も、はじめは近在の農民が鎮守である「鷲大明神」に感謝した収穫祭と伝えられています。

俳句短歌



鐘三つ 鳴らぬ人生 野紺菊 (荏原一丁目 吉田久美子)

文化の日 脳トレの本 購入す (荏原一丁目 吉田 健二)

背をまげて つたない習字や 秋の暮 (小山3丁目 青山智恵子)

落葉踏む どこか湿った 不動尊 (小山3丁目 小林 蔦枝)

酒かすの甘酒うまし 浅草寺 (荏原二丁目 節子)

スポーツつて不思議

お雛様のような顔して 飛び蹴りをする (小山台一丁目 昌子)

るメタボリック・シンドロームをより多くの人に知ってもらおうと、11月30日(日)の1時から荏原文化センター「大ホール」で健康講演会を開催します。講師はNHK「きょうの健康」でおなじみの筑波大学大学院准教授、久野謙也さん。入場自由(定員500人)。

また、同センター1階の「レクホール」では午前10時から午後3時30分まで健康測定コーナーを設けて腹囲、体脂肪、骨密度、血管年齢などの測定を行います。

●訂正●
「まちかど」90号の掲示板「後地小学校創立80周年記念同窓会」の問い合わせ先、吉田蘭子様の電話番号が誤っていました。(誤)03-3785-6600 (正)03-3782-7072 訂正してお詫びいたします。

なるほどセニナール

江戸時代後期からは、浅草の鷲在山(じゅざいさん)・長国寺境内の鷲大明神(台東区千束)がもともとその名な西の市で「本酉」に対して「新酉」と呼ばれています。

当時、氏は鶏肉を食べることを忌み、祭りの日には鷲大明神に鶏を奉納し、祭りが終わると、それらの鶏を浅草寺まで運んで観音堂前に放してしまったといわれています。西の市の縁起物の熊手は、鷲が獲

